

令和3年6月10日

需要家 各位

東関東生コン協同組合

暑中期におけるレディーミクストコンクリートの出荷対応について

近年は夏場の気温が上昇し、最高気温が 35℃を超える猛暑日も多くなり、レディーミクストコンクリート製造時のコンクリート温度についても 35℃に迫る温度が見られるようになっております。

このような現状をご考慮頂き、下記に示します荷卸し時のコンクリート温度に関する対応へのご協力をお願い申し上げます。

1. 荷卸し時のコンクリート温度 35℃超の受入れについて

組合員工場は、荷卸し時のコンクリート温度の上限値を 38℃以下と規定し、JIS 登録認証機関の認証を受けております。荷卸し時のコンクリート温度が 35℃を超えた場合でも 38℃以下であれば、JIS 品として出荷可能となっておりますので、ご検討のほどお願い申し上げます。

2. 受入れ時のコンクリート温度の判定基準を「35℃以下」とされている現場への納入について

①組合員工場においては、暑中期における対策は実施しておりますが、決定的な対策はなく、荷卸し時のコンクリート温度が 35℃を超える可能性があります。受入れ時のコンクリート温度の判定基準を 35℃以下とされている場合には、納入できずご迷惑をおかけする事態になることが考えられます。納入予定日にコンクリート温度が 35℃を超えることが予想される場合には納入をご辞退させていただくこともあることをご承知おきいただきたくお願い申し上げます。

②荷卸し時のコンクリート温度が 35℃を超えることが予想される場合において納入を希望される場合は、コンクリート温度のみ不適合となったレディーミクストコンクリートは戻りコン扱いとして、商品代と取消料の両方をご負担頂くことをご了承下さいますようお願い申し上げます。

③受入れ時のコンクリート温度を下げるために、工場で実施している対策の他に追加で対策を要望される場合には、対策にかかる費用のご負担をお願い致します。ただし、対策の効果は保証致しかねますので、ご了承ください。

つきましては、需要様におかれましては、納入予定日にコンクリート温度が 35℃を超えることが予想される場合や納入時のコンクリート温度が 35℃を超えた場合の対応について登録販売店様とご相談頂き、ご指示を頂きますようお願い申し上げます。

このような状況をご理解頂き、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

以上